

# 例会報告：2013年3月12日（晴れ）第1789回年通常例会

【続き】パブル真っ盛りでしたので、卒業旅行という事でヨーロッパの方へ行かせて頂きました。その時にイタリアという国に大分はまってしましまして、今でもイタリアという国、料理とも好きで仲間内でイタリア会というのを作りイタリア料理の美味しい店を探したりしております。大学を卒業した後、社会人になって家業を継ぐべくクリーニングの会社ですとか、免許を取ったり資格を取ったりして現在に至る訳ですが、地元に戻って来てから消防団活動とか氏子会の活動とか地元の活動を様々にさせて頂きました。そんな中で本多さんと大木さんにご指導を色々として頂いて、大人の付き合い方とかを教えて頂いております。現在立場上市議会の方へ行くようになりまして、色々な案件に対してしっかりとした考え方を述べて物事を進めて行かなければいけないようになりまして、これからも皆さんに色々な場面でご指導いただきながら強いまちの小田原を作り上げるべく、頑張っていくと思っております。今後ともご指導よろしくお願い致します。

## ◆ 会員誕生日

阿久津 馨さん (3月14日)

## ◆ 結婚記念日

太田 忠さん (3月13日)

## ◆ 奥様誕生日

安藤 はな子さん (3月16日)

## ◆ ニコニコ箱

大木 清委員

|        | ニコニコ箱  | 累計      | 目標        |
|--------|--------|---------|-----------|
| 3月12日分 | 21,000 | 731,040 | 1,300,000 |

### \* 会員誕生日

阿久津 馨さん…73才の誕生日のお祝いありがとうございます。少々ですが。

### \* 結婚記念日

太田 忠さん…結婚のお祝いありがとうございます。確か40年になったはずですが。

### \* 奥様誕生日

安藤 克己さん…妻の誕生日祝っていただきありがとうございます。

小林 和彦さん…妻の誕生日にキレイな花が届きました。毎年の事ですが、つい忘れがちでロータリーに助けられています。

### \* その他

会員増強委員会…2月19日に開催しました新会員歓迎会の会費の余りを少々ですが、とても盛会でした。ありがとうございます。

河野 秀雄さん…小嶋会長、挨拶等々良く勉強して頑張っていますね。あと3か月肩肘張らず力を入れていきましょう。

中村 維孝さん…今朝ベトナムから帰国しました。白いアオザイ姿がまぶしかったです。

大木 清さん…ニコニコ箱の委員として、本年度の目標達成にご協力をお願いします。

**RAC**  
会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

## ■ ■ ■ 今後のメーキャップ情報 ■ ■ ■

-2013年3月-

- ▶ 20日(水) **小田原北 休会**  
小田原城北ローターアクトクラブ  
マロニエ広場9:00~15:00  
「フリーマーケット」 ※雨天中止
- ▶ 21日(木) **小田原中 移動例会 MU受付なし**
- ▶ 22日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:石川 博会員」  
**足柄** おんりーゆー 12:30  
「卓話:柿沼会長エレクト/PETSを終えて」
- ▶ 25日(月) **小田原** 報徳会館 12:30  
「卓話:工藤光和会員/金融機関のリスク管理」
- ▶ 26日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 18:00  
「卓話:川辺 ハルト会員」
- ▶ 27日(水) **小田原北** 報徳会館 12:30  
「会員卓話」
- ▶ 28日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30  
「クラブ・フォーラム:PETS報告」
- ▶ 29日(金) **湯河原 休会**  
**足柄** おんりーゆー 12:30  
「会員卓話/青春そして今」

-2013年4月-

- ▶ 1日(月) **小田原** 報徳会館 12:30  
「卓話:川村 啓司会員/化粧品にまつわる最新事情」
- ▶ 2日(火) **箱根** 宮ノ下富士屋ホテル 12:30  
「卓話:ピオラとバイオリンの演奏」
- ▶ 3日(水) **小田原北** M.U.受付なし  
「観桜会」
- ▶ 4日(木) **小田原中** 報徳会館 12:30  
「卓話:川本 信隆会員/自己紹介」
- ▶ 5日(金) **湯河原** ニューウエルシティ湯河原 12:30  
「卓話:石田 浩二会員」  
**足柄** おんりーゆー 12:30  
「会員卓話/青春そして今」

【小田原城北ロータリー・クラブ】  
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9  
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377  
URL：http://www.odawarajhrc.jp  
Mail：info@odawarajhrc.jp  
例会会場：小田原卸センター内会議室  
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日  
例会：毎週火曜日 12:30~13:30  
クラブ会報委員会  
監修：久保田 知子  
編集長：須賀 俊和  
コピーライター：大川 誠  
デザイン：小林 和彦  
フィールド：須藤 公司・小楠 雅昭

会員数：49名



国際ロータリー第2780地区

# 小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780  
ODAWARA JOHOKU R.C.  
2012-2013  
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】  
田中 作次  
【R.I. 2780地区ガバナー】  
菅原 光志  
【第9グループガバナー補佐】  
鈴木 悌介



【会長】小嶋 章司  
【副会長】中野 明  
【幹事】久保田 知子  
【副幹事】大川 久弥  
【会場監督】清 康夫

## 奉仕を通じて平和を PEACE THROUGH SERVICE

### 本日の例会：通常例会（第1790回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2013年3月19日 12:30~13:30

司会：大川 久弥 副幹事

|       |  |
|-------|--|
| 12:30 | 開会点鐘：小嶋 章司 会長<br>ローターソング斉唱「手に手つないで」<br>スピーカーおよびビジターの紹介<br>慶事祝福<br>会長挨拶<br>幹事報告／出席報告／委員会報告<br>同好会報告／ニコニコ箱 |
| 13:00 | 担当：小嶋章司会長<br>卓話：秋山里奈様<br>明治大学 法学研究科博士前期課程2年<br>伊勢原市出身<br>「ロンドンパラリンピック競泳女子100m<br>背泳ぎ金メダリスト」              |
| 13:30 | 閉会点鐘：小嶋 章司 会長  |

### 寄稿 (5/7)

要するに私流に職業奉仕を平たく言えば、自社事業に最善を尽くし、取引先に信頼を頂き、社員には誇りを持って安心して業務に当たって頂き、働ける喜びを感じてもらい、良き成績で決算を迎え、国の為社会の為に貢献出来る会社運営を永く続ける事だと思います。

ビジネスは社会に尽くす手段でなければならぬと1910年にアーサーフレデリックシェルドンは言っております。どんな職業でも、利益は奉仕に対するご褒美として与えられるものでなければならぬと私は思っております。自分の持っているすべての（考え、技術等々）ものをまず与える、提供する、それに対する相手、お客様、取引先の方々のお礼の印（しるし）がお代金であるとの認識を持つ事が大事だと思います。

河野 秀雄

## 今見つめ直そう不易なるものと流行

【今後の例会・卓話スケジュール】

3月26日 通常例会 12:30 (クラブ協議会)

担当：執行部

卓話：露木 清勝会長エレクト

「PETS報告」

4月2日 夜間移動例会 門松17:10 (創立記念)

担当：執行部

卓話：小林 泰二会員

「未定」

4月9日 通常例会 12:30

担当：小嶋 章司会長

卓話：片山 清宏様／松下政経塾第31期生

「未定」

4月16日 通常例会 12:30 (クラブ・フォーラム)

担当：指導者育成委員会

卓話：石崎 孝委員長・河野 秀雄委員

「ロータリーの職業奉仕について」



# 例会報告：2013年3月12日（晴れ）第1789回年通常例会

会場：小田原卸センター内会議室  
時間：12:30～13:30

## ❖ 会長挨拶

**「特権意識」** **小嶋 章司 会長**

戦前においては、実業界のスティタス・シンボルは工業クラブの会員であること、ロータリークラブの会員であること、この二つであったという話をどこかで聞いたことがあります。それも当然のことで、米山梅吉さんが日本にロータリーを持ってきた頃会員を選ぶ基準が、第一級の財界人という点に置かれていたというのですから疑いがないと思います。ところで、日本におけるロータリーの拡大はめざましいものがあり1996年には会員数が13万人をこえました。この数は現在までで最高です。その後会員が激変したといえども現在でも会員9万人弱・クラブ数2300になっています。ここまで拡大してくればもうロータリーが特別のスティタス・シンボルとならないと思いません。

某バスト・ガバナーは「ロータリーの最終の目標はロータリーが必要なくなることだ」という逆説的なことを言っていました。世界中のみんながロータリアン的な理想に生きられるようになってしまえば、それでロータリーは目的を達したということになるのでしょうか。一種の安楽死だと思います。

それにもかかわらず、なおロータリアンが一種のエリート意識を持っていることは否めないと思います。

事実、会員はそれぞれの地域の代表的職業人として選ばれており、その限りにおいては選ばれたとしての意識を持って不思議ではないかもしれません。ところがエリート意識というもの少し油断すると、つい権威主義と独占主義になりがちであると思えます。

ロータリーの会員増強をはばむもの一つもこの意識ではないでしょうか。あの程度の人ではという、人間の本质とはなんら関係ない、財産や地位を尺度にした差別感が働くからでしょう。「自分たちだけは選ばれた者で別の世界の人だ」「自分だけは人と区別されたい」こうした考え方は残念ながら、すべての人間の意識の底に多かれ少なかれあるのではないのでしょうか。人間としての弱点ですかね。

かながわ湘南ロータリークラブを作った高木直之さんは「今のロータリーは若い職業人や特に女性には敷居が高い。高収入の、社会的地位が高い人でなくても、ロータリー精神に共鳴する人ならだれでも参加できるようなクラブを实践したい。奉仕の心と少し余裕があれば、誰でも参加できるクラブを目指したい」といっています。

## ❖ 幹事報告

**久保田 知子 幹事**

1)神奈川県ロータリアン親睦テニス会の案内がきております。詳細については掲示板にはってあります。

2)お休みの続いている上田会員に連絡をさせて戴きました。4月2日の夜間例会には参加されるとの事でした。

3)例会に欠席される方は、当日10時までに必ずご連絡下さい。お弁当の無駄を少なくする為に、ご協力宜しくお願い致します。



## ❖ 出席報告

中野 明副会長

| 出席報告  | 会員数    | 出席 | M.U | 出席率    |
|-------|--------|----|-----|--------|
| 3月12日 | 49(46) | 37 | 1   | 82.61% |
| 3月5日  | 49(49) | 41 | 0   | 83.67% |
| 2月26日 | 49(47) | 40 | 2   | 87.23% |

【欠席者】 9名  
須賀 俊和、上田 博和、齋藤 永、菊池 義雄、田代 博信  
大川 誠、木村 啓滋、石橋 徹、小楠 雅昭

【今回MU】 1名  
菊池 義雄 (3/10 小田原城北RAC)

【前回MU】 増加なし  
【前々回MU】 増加なし

## ❖ 表彰

### \*ベネファクター

鈴木 進さん  
小川 和夫さん



### \*マルチプルフェロー

小林 泰二さん (5)  
河野 秀雄さん (5)  
土岐 博也さん (4)  
太田 忠さん (2)  
大谷 宏さん (2)  
一寸木 信雄さん (1)



## ❖ 小田原城北RAC活動報告

会場：川東タウンセンターマロニエ201  
日時：3月10日（日）13：30～  
内容：「舌癒着症講演会」（専門知識開発）  
講師：山本伊佐夫先生



## ❖ Table Flower

- ガーベラ
- スプレーカーネーション
- ラグルス
- ドラセナ

ガーベラの花言葉は「希望」「常に前進」  
スプレーカーネーションの花言葉は「集団美」  
ドラセナの花言葉は「幸福」



## ❖ 卓話

「イニシエーションスピーチ」



高橋 哲也会員

私は先週で39歳になりました。自分自身39歳という結構年かなと思ったのですが、まだまだだなどという事を実感しております。

昭和49年の3月8日に鴨宮で生まれました。49年という第2次ベビーブームの生まれで、私たちが年をとったころには老人がすぐ増えてしまう状況が出てくるということを知っております。

私は生まれてこのかた小田原に住んでおります。私は色々な人生体験をしており小学校3年生の時に顔と手と足に大やけどを負ってしまいました。プロパンガスのお風呂の家に住んでおり、親に言われてお風呂に火を点けようとした時に爆発してしまい大やけど負いました。昔の石井外科さんに小学校3年生の時に入院しておりました。そんなことで小学校6年間の内1年間を無駄に過ごしてしまいました。お蔭様で顔や手にはやけどの跡は全然残らずに良かったかなと思っております。

そんな年があったにも関わらず次の年に両親が離婚をしてしまいました。今では離婚する方は多い時代ですが、その当時は余り多くなく、人には言えず辛かったという小学校時代を憶えています。ただ周りの友人たちにとっても恵まれており、今自分がこういう風にあるのも、小田原の地元の友人達のお蔭かなと思っております。

その中で小田原市立矢作小学校を卒業し、鴨宮中学校に入学しました。あまり頭のいい子ではなかったので勉強の方はおろそかにしておりましたが、スポーツとか遊びが大好きで、サッカーをしたり、今でもやっていますがギターを弾いたりしておりました。そんなことで勉強をあまりしてこなかったのが高校はどうしようかなと思っていたのですが、湯河原高校に進学しました。今まで勉強をしてこなかった分勉強をしようかなという思いが芽生えて、3年間凄く頑張って勉強し、湯河原高校の方では常に成績は上の方にいました。高校を卒業する頃にはバブルが弾けた頃でしたので就職は難しい中で、東海大学など推薦のお話もありましたが、私自身またここで勉強してもどうなのかなという事を感じておりましたので、自分の進みたい道の専門学校へ行きました。専門学校へ2年通っていたのですが、就職難の時期に重なってしまい、アルバイトとか音楽の活動をしておりました。しかし父も年なのでちゃんと働かなくてはいけないと思い、今は無いのですが、古谷運輸さんにお世話になりました。ただ時代が時代なのか、365日休まず運送関係の仕事をしていても収入的にも多くなく、このまま年老いていって成長出来るのかなという事を感じておりました時に、今いるジブラルダ生命の会社に誘われました。最初は保険業など私が出来ののかなという思いがありましたが、これも誘って下さった方との縁とか、子供の頃からとって人の縁に恵まれていたなど凄く感じております。自分一人で生きて来られたわけではなく、人との縁の支えですとか、助けてくれた方に対して今自分がどうあるかということを凄く感じており、ジブラルダ生命に約8年前に入って今に至るのですが、このジブラルダ生命以外だったら保険業はしていなかったと思います。それは凄く会社の理念が自分に合っているなと思うのです。「信頼に値すること」「顧客に焦点を合わせること」「お互いに

尊敬しあうこと」「勝つこと」とあります。

ロータリーの場にいらないだろうなと感じております。人としてまだまだ未熟ですし、仕事もまだまだ頑張らなければなりません、ロータリーに入らせて頂いた中でももっとも自分が成長出来たらなという部分もそうですし、皆様との人との付き合いを凄く大事にしていきたいと思っております。中々忙しいので例会に参加できず申し訳ないのですが、長い目で見守っていただけたらと思いますので、これからもよろしくお願い致します。



私は昭和39年10月1日に母の出身地である豊橋の方で生まれました。昭和39年10月1日という新幹線が開通した日です。ひかりとかこだまという名前にならなくて良かったかなと思っており、私の名前は当初「慶」というふうにと父と母は考えていたそうです。しかし祖父と祖母は古いタイプの人間ですので名前は太郎に決めたとわれ、最終的に檀家の住職さんをお願いをして、裕というふうにな名前が付いたといういきさつがあります。当時3420gで生まれ、ミルクが足りなく泣いて叫ぶようにミルクを良く飲んでさうです。その大食いの流れというのは保育園に入っても続いており、保育園に行くときまず行く場所は給食室で、今日の給食のメニューを聞いてお昼を楽しみにしていました。保育園も小学校も良く食べた子供だったようです。扇町もその当時商店が一杯あり、私の前もお菓子屋さんがありました。その頃、量り売りのあらねなどを10円単位で買ったものから、保育園を何人かで抜け出してその店で買って、その店でつけがきくというのを知っていたので、何人かの分もつけてもらい保育園で食べていたという、今考えると相当悪質な事もやっていたという訳です。そして足柄小学校に入りました。足柄小学校というのは鉄筋校舎になる頃でしたので、プレハブの時期が多く5年生まではプレハブでした。4年生までは担任の先生は女の先生でした。私は女の方には受けが良くないというか、癪に障らしいのです。例えば授業中にそっぽを向いていて、あいつ授業を聞いていないと思われ指されるのですが、それでも答えるという可愛くない生徒でしたので、先生からの評価が低く2とか3ばかりでした。

しかし5年生6年生になった時に男の先生になった時は、評価がいきなり変わって5とか4ばかりになりました。勉強をするぞと思う時期がちょっと早く中学がピークだったわけです。小田原高校に入るまでは良かったのです。入学時に行う新入生歓迎テストでは一桁台だったのが卒業する時には3桁台になっており、大学はどこへ行こうかなと思った時に、なぜか信州大学に行く事になりました。家業の事もあつし、繊維学部という学部に行かせて頂きました。

中、高、大とこういう体格ですのでバレーボールをずっとやっていて大学でも4年間やり、多くの友達もできました。北信越地区では中々強くて2連覇か3連覇していたのですが、関東の方の大会に来ると中々勝てませんでした。大学でバレーばかりやっていたわけではなく、実験も一杯ありました。特に授業で蚕を飼う授業があり、10万匹飼っているのです。蚕の体の中というのはシルクの原料のセルロースが一杯詰まっているのです。昔はそれをつぶして伸ばすと天蚕糸になったという位のものであったのでそんなに弱い物ではありません。蚕には家蚕と天蚕というのがあり、家蚕というのは普通の養殖している蚕、天蚕というのは山場湯がという大きな蛾の幼虫で、それで作った生地というのはものすごく高く、穂高の方に天蚕試験所というのがあり、そこへ行くとスカーフなどが買えるのですが、スカーフが1枚5万円位してしまいます。信州大学の農場でもそれを飼って、私たちもそれを飼育しに良く行きました。そんな勉強を大学中はさせて頂きました。大学を卒業する時には【続く】



大川 裕会員

私は昭和39年10月1日に母の出身地である豊橋の方で生まれました。昭和39年10月1日という新幹線が開通した日です。ひかりとかこだまという名前にならなくて良かったかなと思っており、私の名前は当初「慶」というふうにと父と母は考えていたそうです。しかし祖父と祖母は古いタイプの人間ですので名前は太郎に決めたとわれ、最終的に檀家の住職さんをお願いをして、裕というふうにな名前が付いたといういきさつがあります。当時3420gで生まれ、ミルクが足りなく泣いて叫ぶようにミルクを良く飲んでさうです。その大食いの流れというのは保育園に入っても続いており、保育園に行くときまず行く場所は給食室で、今日の給食のメニューを聞いてお昼を楽しみにしていました。保育園も小学校も良く食べた子供だったようです。扇町もその当時商店が一杯あり、私の前もお菓子屋さんがありました。その頃、量り売りのあらねなどを10円単位で買ったものから、保育園を何人かで抜け出してその店で買って、その店でつけがきくというのを知っていたので、何人かの分もつけてもらい保育園で食べていたという、今考えると相当悪質な事もやっていたという訳です。そして足柄小学校に入りました。足柄小学校というのは鉄筋校舎になる頃でしたので、プレハブの時期が多く5年生まではプレハブでした。4年生までは担任の先生は女の先生でした。私は女の方には受けが良くないというか、癪に障らしいのです。例えば授業中にそっぽを向いていて、あいつ授業を聞いていないと思われ指されるのですが、それでも答えるという可愛くない生徒でしたので、先生からの評価が低く2とか3ばかりでした。